



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 オカダアイオン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6294 URL http://www.aiyon.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 祐司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 前西 信男 TEL 06-6576-1281
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,985	△6.4	368	4.2	369	1.6	244	3.1
2020年3月期第1四半期	4,258	0.9	353	△10.0	363	△8.9	237	△10.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 222百万円 (△12.2%) 2020年3月期第1四半期 253百万円 (△8.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	30.65	30.41
2020年3月期第1四半期	29.20	28.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	21,482	10,716	49.6	1,336.07
2020年3月期	21,617	10,715	49.3	1,336.28

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 10,662百万円 2020年3月期 10,659百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	28.00	28.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期 (予想)	-	0.00	-	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	8,100	△12.9	650	△26.3	650	△27.1	420	△24.3	52.62
通期	16,000	△10.9	1,000	△26.9	1,000	△25.8	650	△26.5	81.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	8,378,700株	2020年3月期	8,378,700株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	397,215株	2020年3月期	402,015株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	7,978,885株	2020年3月期1Q	8,126,085株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済及び世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の停滞による消費の冷え込みや貿易の減少等により景気が急速に悪化いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、インフラ工事、災害復興、リサイクル、再生エネルギー関連の建設・産業用機械を取り扱っていることもあり、行政の指導のもと従業員や関係する皆様方の感染防止に努めつつ事業活動を継続し、顧客要請に対応した安定的な商品供給とアフターサービスを心がけてまいりました。また、対面活動は極力自粛し、併せて経費削減にも注力してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,985百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益368百万円（前年同期比4.2%増）、経常利益369百万円（前年同期比1.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益244百万円（前年同期比3.1%増）と減収になりましたが増益を確保いたしました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

国内セグメントは、売上高2,633百万円（前年同期比2.9%増）となりました。機種別には、首都圏を中心にコロナ禍中での買い控え影響等もあり、主力の圧砕機の売上高は1,032百万円（前年同期比17.3%減）、油圧ブレーカの売上高は173百万円（前年同期比4.5%減）となりました。一方で、災害復興等の用途が見込まれるつかみ機は214百万円（前年同期比29.9%増）となりました。また、バイオマス発電向け等の需要が堅調な環境関連機器は、大型木材破砕機が順調に納入できた結果、売上高は520百万円（前年同期比106.1%増）となりました。アフタービジネスについては、原材料売上高が315百万円（前年同期比10.0%減）、修理売上高は173百万円（前年同期比1.7%減）となりました。その結果、セグメント利益は環境関連機器の利益が寄与し242百万円（前年同期比47.9%増）と大幅増益となりました。

海外セグメントは、売上高793百万円（前年同期比22.6%減）となりました。現地法人のある米欧では、コロナ感染拡大が一気に進む中、事業活動は継続したものの制限が大きく、米国では売上高570百万円（前年同期比26.1%減）、欧州は売上高100百万円（前年同期比18.8%減）と共に減収となりました。一方、昨年来、苦戦が続いていたアジア地域は、同じくコロナ影響はあったものの、新商材の投入により売上高109百万円（前年同期比0.2%増）と前年並みを確保し回復の兆しが見られました。その結果、セグメント利益は128百万円（前年同期比28.3%減）となりました。

南星セグメントは、売上高558百万円（前年同期比17.2%減）となりました。コロナ禍中での買い控え影響等もあり林業機械は売上高144百万円（前年同期比14.6%減）、金属スクラップ機械は売上高43百万円（前年同期比7.5%減）となりました。また、ケーブルクレーン部門は水力発電所関連工事が安定しているものの、完工時期の関係で売上高228百万円（前年同期比12.0%減）となりました。その結果、セグメント利益は、20百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、21,482百万円（前連結会計年度末21,617百万円）となり134百万円減少しました。建設仮勘定が190百万円、仕掛品が118百万円、商品及び製品が73百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が369百万円、現金及び預金が257百万円減少したことが主な要因です。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、10,766百万円（前連結会計年度末10,901百万円）となり135百万円減少しました。短期借入金が299百万円、長期借入金が139百万円それぞれ増加しましたが、支払手形及び買掛金が551百万円、賞与引当金が115百万円それぞれ減少したことが主な要因です。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、10,716百万円（前連結会計年度末10,715百万円）となり1百万円増加しました。剰余金処分の配当金支払223百万円を行いました。親会社株主に帰属する四半期純利益244百万円を計上したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月13日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりましたが2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき修正を行っております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2021年3月期連結業績予想の公表及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,193,817	2,936,770
受取手形及び売掛金	4,930,165	4,560,685
商品及び製品	3,841,732	3,915,033
仕掛品	255,020	373,798
原材料及び貯蔵品	2,659,520	2,672,812
その他	452,712	518,338
貸倒引当金	△11,225	△10,137
流動資産合計	15,321,743	14,967,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,298,187	2,266,564
機械装置及び運搬具(純額)	598,801	596,400
土地	2,020,793	2,020,319
建設仮勘定	263,840	454,140
その他(純額)	78,927	78,726
有形固定資産合計	5,260,550	5,416,151
無形固定資産		
のれん	104,734	94,261
その他	262,434	321,666
無形固定資産合計	367,169	415,927
投資その他の資産		
投資有価証券	249,069	276,828
繰延税金資産	334,900	323,274
その他	86,394	86,306
貸倒引当金	△2,816	△2,816
投資その他の資産合計	667,547	683,592
固定資産合計	6,295,267	6,515,671
資産合計	21,617,010	21,482,974

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,537,877	2,986,328
短期借入金	3,354,405	3,653,855
1年内返済予定の長期借入金	456,472	453,055
未払法人税等	142,741	148,983
賞与引当金	215,037	99,478
その他	751,237	830,257
流動負債合計	8,457,770	8,171,957
固定負債		
長期借入金	1,920,132	2,059,971
退職給付に係る負債	480,448	487,923
その他	43,641	46,796
固定負債合計	2,444,222	2,594,690
負債合計	10,901,993	10,766,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,221,123	2,221,123
資本剰余金	2,263,081	2,265,605
利益剰余金	6,431,883	6,453,087
自己株式	△268,250	△265,048
株主資本合計	10,647,838	10,674,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,094	37,310
繰延ヘッジ損益	△1,513	85
為替換算調整勘定	△5,321	△48,366
その他の包括利益累計額合計	11,259	△10,970
新株予約権	55,918	52,526
純資産合計	10,715,017	10,716,325
負債純資産合計	21,617,010	21,482,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,258,726	3,985,218
売上原価	2,961,970	2,765,461
売上総利益	1,296,755	1,219,757
販売費及び一般管理費	943,575	851,655
営業利益	353,179	368,101
営業外収益		
受取利息	4,397	2,460
受取配当金	5,705	5,883
固定資産売却益	3,641	479
貸倒引当金戻入額	7,429	1,084
その他	4,663	4,196
営業外収益合計	25,837	14,105
営業外費用		
支払利息	6,388	8,538
売上割引	23	5
債権売却損	1,242	197
為替差損	3,757	3,824
その他	3,774	—
営業外費用合計	15,186	12,566
経常利益	363,830	369,640
税金等調整前四半期純利益	363,830	369,640
法人税等	126,556	125,089
四半期純利益	237,274	244,551
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	237,274	244,551

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	237,274	244,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,530	19,215
繰延ヘッジ損益	△2,159	1,599
為替換算調整勘定	34,760	△43,044
その他の包括利益合計	16,069	△22,230
四半期包括利益	253,343	222,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	253,343	222,320
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	南星	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,558,875	1,025,896	673,954	4,258,726	—	4,258,726
セグメント間の内部売上高又は 振替高	101,957	144	15,649	117,751	△117,751	—
計	2,660,833	1,026,040	689,603	4,376,478	△117,751	4,258,726
セグメント利益	163,774	178,656	22,143	364,575	△11,395	353,179

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△11,395千円の内訳は、のれんの償却額△10,473千円及びセグメント間取引消去△921千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	南星	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,633,403	793,797	558,017	3,985,218	—	3,985,218
セグメント間の内部売上高又は 振替高	104,708	1,683	34,567	140,959	△140,959	—
計	2,738,112	795,480	592,584	4,126,177	△140,959	3,985,218
セグメント利益	242,209	128,109	20,789	391,107	△23,006	368,101

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△23,006千円の内訳は、のれんの償却額△10,473千円及びセグメント間取引消去△12,532千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。